

■中野好夫 英文学者、評論家。〈敗戦〉後、公正な発言で民主主義の背骨を支え、70過ぎて「ローマ帝国衰亡史」翻訳。

なかのよしお

日比谷公園・1903＝ 愛媛県松山市で長男に生まれ、

日露戦争終・1905＝ 2歳： 幼年期は徳島で過ごす。

明治天皇没・1912＝ 9歳：

大暴落・・・1920＝17歳： 第三高等学校文科に入学、
原敬首相暗殺1921＝18歳：

円本時代始・1926＝23歳： 東大英文科卒業。新聞社を志望したが失敗し、 中学校の英語教師となる。

海軍軍縮条約1930＝27歳：
満州事変・・・1931＝28歳：

東京府立女子師範・東京女子大学の教壇にも立った後、

芥川直木賞始1935＝32歳： 東大文学部助教授に就任。

日中戦争始・1937＝34歳：

第二次大戦始1939＝36歳：
大政翼賛会・1940＝37歳： *幅広い学識と緻密な分析を兼ね備えた「アラビアのロレンス」。シェークスピアの「ベニスの商人」。
日米開戦・・・1941＝38歳：

敗戦・・・1945＝42歳： *敗戦直後みずから“戦犯第1号”を名のり、以後一貫して民主主義と平和のために、“知こそ力”という姿勢を
律義に貫いて行く。

新憲法施行・1947＝44歳： 翻訳「ガリヴァ旅行記」、
極東裁判決・1948＝45歳： 教授に就任。

独立回復・・・1951＝48歳： 、「モームの「雨」など精細な原文分析による達意の翻訳、

TV放送始・・・1953＝50歳： 、「官学”を辞し、著作活動に専念する。{平和}の編集長。
著作は多岐にわたり、

国連加盟・・・1956＝53歳： 、「{文芸春秋}に「もはや戦後ではない」を発表。

なべ底不況・1957＝54歳：
時事評論では、全面講和、憲法擁護、安保改定、ベトナム戦争、沖縄返還など、理非曲直を明らかにした
時論を展開、とくに

安保闘争・・・1960＝57歳： 、「60年安保では”こわれた車に民主主義は乗らぬ”と新聞社説を鋭く批判した。加藤一郎らと、沖縄資料セン
ターを設立。

いざなぎ景気1966＝63歳：

美濃部都知事1967＝64歳： 専門の「シェイクスピアの面白さ」、

霞ヶ関ビル・1968＝65歳： 、「人間の内面への飽くなき好奇心と歴史への関心に支えられた「蘆花・徳富健次郎」連載開始。

全共闘ピーク・1969＝66歳： 「スウィフト考」、

大阪万博・・・1970＝67歳： 新崎盛暉との共著「沖縄・70年前後」、

トルショック・・・1971＝68歳： *「蘆花・徳富健次郎」連載終了。これらの評伝は、伝記文学に新生面を開いた。

石油ショック1973＝70歳：

角栄金脈辞任1974＝71歳： 「蘆花・徳富健次郎」(全3冊)刊行。

クアンプール事件1975＝72歳： 、「原水爆禁止運動や都知事選では、公正な判断と誠実な人柄から内部分裂の回避に一役買う。

田中角栄逮捕1976＝73歳： 、「E. ギボンの「ローマ帝国衰亡史」の翻訳に専念し、この年、刊行開始。以後、没するまで続けるが、

“狡智万点の愚者”たる人間の未来について、司馬江漢にならって“人は獣に及ばず”と警告、人類の英知に悲
観的見方を示した。

中曽根内閣・1982＝79歳：

・・・1984＝81歳：

ジャンボ機墜落1985＝82歳： *「ローマ帝国衰亡史」の翻訳半ばにして、没した。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、